

成育だより

NCCHD
News Letter
2026 Summer

Vol.47

National Center for Child Health and Development

<https://www.ncchd.go.jp>



特集

ひふ

ICWH 産科麻酔トレーニングセンター・女性のライフストレス制御研究室・思春期の子どもを支えるために
政策科学研究部 / 臨床研究センター / 専門職のご紹介(薬剤師/皮膚・排泄ケア特定認定看護師)
ホスピタル・ファシリテッドッグ® マナが内定! / ご寄付のお礼 / Information



いいの？わるいの？紫外線

夏真っ盛りの今、子どもの肌を守るためには、皮膚の特徴に合わせた正しい紫外線対策が欠かせません。

子どもの皮膚は成長の途中で、大人に比べて薄く、外からの刺激を受けやすいことが特徴です。成長期の肌は紫外線の影響も受けやすいため、夏は日差しの強い時間帯や場所を避けて、上手に肌を守ることが大切です。

紫外線を浴びすぎると、日焼けで赤くなったり痛くなったりするだけでなく、将来のしみ、しわ、皮膚がんのリスクを高めることが分かっています。また、強い紫外線は目にも影響し、白内障などの原因になることがあります。子どもの頃から、日陰を選ぶ、帽子や衣類で肌を守る、必要に応じて日焼け止めを使う、といった習慣を身につけることは、生涯の健康を守る上でも大切です。

一方で、日光には大切な役割もあります。骨を強く育てるビタミンDは、食事から摂取するだけでなく、紫外線の助けを借りて皮膚でも作られます。近年は、屋外活動の減少、行きすぎた紫外線対策、食事内容などが重なり、乳幼児や妊婦さんのビタミンD不足が問題になっています。妊婦さんのビタミンD不足は、おな

かの赤ちゃんの骨の発育に影響を及ぼすことがあるので注意が必要です。

だからといって、ビタミンDのために、肌が赤くなるまで日焼けをする必要はありません。夏の晴れた日には、顔や手に短時間の日光が当たるだけでも一定量のビタミンDが作られます。なお、必要な時間は地域、季節、時刻、天気、服装によって大きく変わります。大切なのは、強い紫外線と熱中症を避けながら、無理のない外遊びを続けることです。

気象庁の紫外線情報なども参考にしながら、日差しの強い時間帯は日陰や室内で過ごし、朝夕の比較的涼しい時間に外遊びを楽しみましょう。太陽を「避けすぎず、浴びすぎず」、上手につき合うことが、子どもの健やかな肌と体を育てる第一歩です。

Kazue Yoshida

吉田 和恵

皮膚科 診療部長

子どもの頃の夢：小学校の先生



手に持っているのは、皮膚全体の撮影や、ほくろ・メラノーマなどの拡大観察ができる皮膚観察用デジタルカメラです。

おしえて！先生！

Q1.

日焼け止めは乳児から塗っても大丈夫？

A1. はい、赤ちゃんにも使える日焼け止めはあります。ただし、月齢の低い赤ちゃんでは、まず直射日光を避けることが基本です。ベビーカーの日よけ、帽子、肌を覆う衣類、日陰を上手に使いましょう。日よけだけでは防ぎにくい顔や手足などには、ベビー用・子ども用の低刺激性の日焼け止めを少量から使うことができます。初めて使うときは、腕の内側などに少し塗って、赤みやかゆみが出ないか確認しておくで安心です。外出後は、石けんやボディソープなどでやさしく洗い流し、必要に応じて保湿しましょう。



皮膚科について

新生児を含むお子さんのさまざまな皮膚の病気を診療しています。対象疾患はアトピー性皮膚炎や乾癬（かんせん）、あざ、血管腫、遺伝性の皮膚疾患など多岐に渡ります。必要に応じて他の診療科とも連携し、お子さん一人一人を丁寧に対応します。

国立成育医療研究センター 皮膚科

<https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/geka/hifu.html>



Q2.

プールや海で真っ赤、
または真っ黒になってしまった。
どうお手入れしたらいいの？

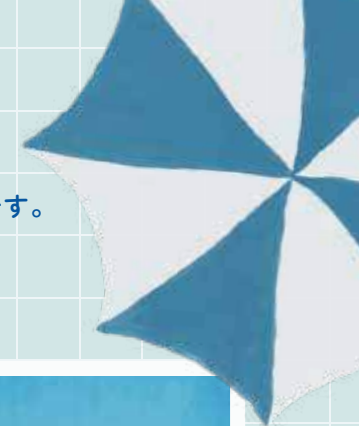
A2. 皮膚が赤くなってヒリヒリ痛い、熱をもっている場合は、日焼けによる炎症で、やけどに近い状態です。冷たい水でぬらしたタオルや、タオルで包んだ保冷剤を当てて、まず冷やしましょう。落ち着いたら、低刺激の保湿剤をやさしく塗ります。こすったり、はがれてきた皮膚を無理にはがしてはいけません。水ぶくれがある、痛みが強い、発熱やぐったりした様子がある、眠れないほど痛がる場合は、皮膚科や小児科を受診してください。皮膚が黒くなっているだけで、赤みや痛みがなく、元気に過ごしている場合は、紫外線から肌を守ろうとする反応です。やさしく洗い、保湿をして、数日は強い日差しを避けましょう。

肌を守るための対策

肌を守るためには、日ごろからのちょっとした心掛けが大切です。

日焼けを防ぐために、次のことに気をつけましょう。

曇りの日も紫外線対策を忘れずに。



日差しの強い時間を避ける

紫外線は午前10時～午後2時頃に強くなります。夏はこの時間帯の長時間の外遊びを避け、日陰を選びましょう。

日焼け止めを正しく使う

日常生活ではSPF15～20、PA++程度、海や山ではSPF20～40、PA+++を目安にします。外出の15分前までに、耳、首の後ろ、手の甲までたっぷり塗り、2～3時間おきに塗り直します。

帽子と衣類で守る

つばの広い帽子や、首の後ろを覆う帽子が有効です。衣類は薄い長袖など肌の露出が少なく、織り目が詰まったものを選びましょう。紫外線を防ぐ効果（UPF）が表示された衣類も選択肢です。

水遊びでは水で落ちにくいタイプを

プールや海では、水で落ちにくいタイプの日焼け止めを選びましょう。「UV耐水性★」「UV耐水性★★」の表示が目安です。ラッシュガードも併用しましょう。

日焼け止めの量と塗り方

顔に使用する場合

クリーム状に出るタイプの日焼け止めは、パール粒1個分、液状に出るタイプは、1円硬貨1個分を手のひらに取る。額、鼻の上、両頬、あごに分けて置き、そこからまんべんなくていねいに塗り伸ばす。そのあともう一度同じ量を重ねづける。



腕や脚など広範囲に使用する場合

容器から直接、直線を描くようにつけてから、手のひらでらせんを描くように均一にムラなく伸ばす。



環境省「紫外線環境保健マニュアル2020」より引用

産科麻酔トレーニングセンター センター長 大原玲子

妊娠や出産は、期待とともに「無事に産めるかな」という不安もつきものです。

最近では出産時の痛みを和らげる無痛分娩を選ぶ方が増えていますが、実はお母さんと赤ちゃんの安全を守る上で、「産科麻酔」という専門的な医療がとて大きな役割を果たしています。

産科麻酔は、無痛分娩だけではなく、帝王切開や不妊治療のための麻酔、お産中の急なトラブルへの対応など、妊娠から出産に関わる医療全体を

支える重要な役割を果たしています。

しかし、日本のお産の多くを担う地域の診療所では、麻酔の専門医が極めて不足しています。予定された帝王切開であっても、約65%のケースで産科の先生が麻酔を兼任しているのが実情です。さらに、高齢出産の増加で医療リスクが高まっている中、より専門的で安全な体制づくりが急務となっています。

そこで私たちは、国立成育医療研究センター開設以来20年以上培ってきた「24時間365日対応

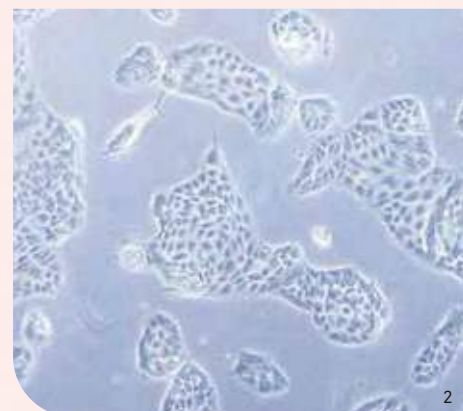
の産科麻酔」の経験を生かし、2026年4月に「産科麻酔トレーニングセンター」を開設しました。

このセンターでは、出産に携わる医療スタッフが標準化された教育プログラムや実践的なシミュレーション訓練を行い、産科麻酔の安全と質の向上を担う人材を育成します。

すべての女性が安心して新しい命を迎えられる社会を目指し、地域医療の安全と質の向上を全力で支えていきます。



1: 硬膜外麻酔手技のトレーニング
2: 産科麻酔のセット
3: 麻酔トレーニング用のシミュレータ本体



女性のライフストレス制御研究室

室長 中林一彦

子宮筋腫や子宮内膜症などの婦人科良性疾病は、命に関わる病気ではありません。しかし、慢性的な痛みや不安などの長期的なストレスをもたらし、女性の生活の質を低下させます。

「女性のライフストレス制御研究室」は、こうした健康問題の解決を目指す基礎研究の拠点です。分子生物学や情報科学などを掛け合わせ、病気が起こる仕組みの解明を進めています。

体内の分子情報を一部だけでなく「丸ごとすべて」網羅して分析する「オミクス解析」や、細胞一つ一つを分析する「シングルセル解析」を駆使すること

で、術後の検体から病気のデータを作ります。そして、発生メカニズムの解明や、効果的な予防・治療法開発のための標的分子（狙い目となる物質）の特定を目指します。

さらに、男女の差（性差）を考慮した医療を進めるため、遺伝子の働き方の違いも調べています。現在は女性免疫バイオメディカル研究室を支援する形で、赤ちゃんを育てる「胎盤」の解析準備を進めており、妊娠合併症の理解や女性の健康向上への貢献が期待されています。このように解析・情報基盤を構築し、ライフストレスを制御する新しい戦略の開発を目指しています。

1: 検体などを保存する超低温フリーザー（-80℃）

2: ヒト胎盤幹細胞（東北大学・有馬隆弘先生より分与された細胞を当研究室で撮影）

「思春期の子どもは、親のことなんて気にしていない」そう思っていないですか？

実は多くの研究で示されているのは、思春期の子どもたちが「最も影響を受けるのは親」であるということです*。

「Wellness（ウェルネス）」とは、単に病気やケガがない状態ではありません。心と体、そして人とのつながりが保たれ、自分らしく生きられている状態のことです。そして思春期のWellnessを支える大きな力のひとつが、保護者の皆さんの存在です。

日々の生活リズムを整えることもWellnessの大切な土台です。勉強だけでなく、きちんと食べる、十分に眠る、体を動かす、遊ぶ、この「あたりまえ」を守ることが、心と体の安定につながります。夏休みは学校というリズムがなくなり、生活が乱れがちです。スポーツや地域のプログラム、習い事など、生活にメリハリをつける活動を取り入れることで、規則正しい生活を保ちやすくなります。

子どもが少し困っている様子をみせたときには、ぜひ声を掛けてあげてください。完璧

な答えを出す必要はありません。「ここにいろよ」というメッセージを、日々の関わりの中で伝え続けることが、子どもたちの立ち直る力（レジリエンス）を育てます。

また、子どもたちには、ほっと息がつける余白と、安心できる枠組みの両方が必要です。気持ちを言葉にする手助けをしたり、選択肢を示したり、いつでも相談できる雰囲気をつくったりすることも大切です。そうした関わりの積み重ねが、子どもが「自分で困難を乗り越えていく力」を静かに育てています。

一方で、眠れていない、スマートフォンやゲームが手放せない、外に出たがらない、食欲がない、こんな様子が続くときは心が助けを必要としているサインです。気になることがあれば、ひとりで抱え込まずにかかりつけ医やスクールカウンセラーなどの専門家に早めに相談してみてください。

*ここで言う「親」とは、血のつながりにかわらず、子どもを育てるすべての保護者、養育者のことです。ひとり親、祖父母、里親、その他の信頼できる大人など、家族のかたちはさまざまであり、それぞれの関わりが子どもたちの力になっています。



Elizabeth Miller
エリザベス(リズ)・ミラー

小児科・思春期医学専門医
米国思春期健康医学の第一人者

子どもの頃の夢は
空中ブランコ乗り

What Matters Most
is Being There.

What is Resilience?

What is Wellness?



女性外科/婦人科のご案内

良性婦人科疾患、月経困難症などの女性特有の疾患や、原因不明の体調不良が続く方の診療を行います。思春期月経外来では、思春期から若年成人（21歳まで）の方を対象に、月経に関するさまざまなお悩みについて診療を行っています。

—対象疾患—

子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣のう胞などの良性疾患、月経困難症・月経前症候群（PMS）、更年期障害、慢性疾患を有する思春期患者さんのトランジション（移行期医療）における月経関連症状（無月経、稀発月経あるいは月経困難症など）

皮膚領域の治験と「患者さんの声」

暑い季節になると、汗や紫外線、虫刺されなどにより、皮膚のトラブルが起こりやすくなります。汗ばむ季節に、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患のあるお子さんに対し、日々のスキンケアに一層気を配られているご家庭も多いのではないのでしょうか。

皮膚の病気に対する治療では、外用薬、内服薬など、さまざまな治療薬の研究や治験が行われています。治験では、皮膚の赤みや湿疹の状態を医師が確認するだけでなく、かゆみの強さ、眠りへの影響、学校や日常生活で困っていることなど、患者さんやご家族からの情報も重要な意味を持ちます。

このように、患者さんご自身から得られる症状や生活への影響に関する情報を「患者経験データ」と呼び、「PRO（患者報告アウトカム）」という調査票のデータが利用されます。皮膚の病気は、見た目だけでなく、かゆみや気分、生活の質にも深く関わります。治療をよりよいものにしていくためには、患者さんご家族の声が欠かせません。

Kotone Matsuyama

松山 琴音

臨床研究センター

センター長

子どもの頃の夢：薬剤師



私たちの仕事は専門的に見えるかもしれませんが、その内容や目的は皆さんの生活や周りの環境など、とても身近なものです。科学の力を使いながら、多くの専門家と力を合わせて、皆さんの暮らしや未来をそっと支える存在でありたいと考えています。

の家計・生活に直結するようなテーマも取り扱っています。

また、「子育てにはお金がかかる」と言われますが、実際にどの程度の費用が必要になるのかを多くの子育て中の方を対象に調査して、「第一子の18年間の子育て費用は約2,170万円」ということを明らかにしました。そうした具体的なデータをもとに、国や自治体などがどのくらいの経済的な支援をしたらよいか、を考えてもらえるきっかけを作ることができました。こうした皆さん

たとえば、子育て期の父親支援に関する研究では、家事・育児を頑張る父親にも「産後うつ」になるリスクがあることを示しました。そして、父親が家事・育児にもっと関わりやすくなるように、社会全体で長時間労働・通勤の負担を減らしていくことや、父親に対しても支援が必要であることを提案しています。データを示すだけでなく、具体的な支援の方法を考え、行政や医療機関の専門家の方々への情報提供や、研修活動も行っています。

私たち政策科学研究部は、子どもや若者、その保護者や家族の健康と生活について研究しています。病院だけでなく、地域や学校などで行った調査結果や集めたデータをもとに、「どのような支援が本当に役立つのか」「制度やサービスをより良くするには何が必要か」といったことを科学的に考え、国や自治体が制度や支援を設計するための提案につなげています。

「政策」というと、難しい言葉に聞こえるかもしれませんが、私たちの暮らしの中にある支援やサービス、その仕組みなどを含むと言われると、とても身近に感じませんか？



Kenji Takehara

竹原 健二

政策科学研究部

子どもの頃の夢：

プロサッカー選手



「皮膚・排泄ケア特定認定看護師」とは、「創傷(Wound)」「ストーマ(Ostomy)」「失禁(Continence)」の三つの領域で、専門的な知識や技術を持つ看護師のことです。三つの領域の頭文字をとってWOC(ウォック)ナースとも呼ばれています。

私たちは、特定の病棟にとどまらず、病院全体を行き来しながら、患者さんやご家族を継続的に支える役割を担っています。主な活動内容は以下の三つです。

「**創傷**」のケア

皮膚科や形成外科の医師、薬剤師、理学療法士、栄養士とチームを組んで、褥瘡(じよくそう)(床ずれ)の回診を行います。また、医療用テープや医療機器によってできてしまう傷の予防にも取り組んでいます。

「**ストーマ**」のケア

人工肛門などのストーマの手術をした患者さんやご家族を対象に、ストーマおよび周辺の皮膚の管理、ケア用品の選択や日常生活へのアドバイス、精神的なサポートまで、入院から退院後まで一貫して行います。



Setsu Sato

佐藤 摂

皮膚・排泄ケア

特定認定看護師

子どもの頃の夢:学校の先生

「**失禁**」のケア

病気によって起こる排泄のトラブルに対する管理方法の指導や用具の紹介を行っています。

さらに、院内外のスタッフ向けに勉強会を開き、病院全体のケア技術を向上させることも、私たちの大切な役割の一つです。

私がこの専門領域を目指したのは、最初に配属された外科病棟での経験が原点です。ストーマを造設された患者さんと関わる

中で、熱意を持ってケアにあたる先輩看護師の姿に感銘を受けました。その後、青年海外協力隊でのコストリカ派遣やICU(集中治療室)などさまざまな経験を積む中で、「より専門的に患者さんを支えたい」という思いが強くなり資格を取得しました。

私たちにとって大切なのは、患者さんの心と体に深く寄り添うことです。幅広い視点で皆さんの生活をサポートし、少しでも安心して日々の生活を送っていただけるよう、最善のケアを提供していきます。

Ayano Tanzawa

丹沢 彩乃

薬剤師

(小児薬物療法認定薬剤師)

子どもの頃の夢:

幼稚園の先生



左から 青柳 薫、丹沢 彩乃、笠原 沙耶香

国立成育医療研究センターでは、生まれつきの赤ちゃんから思春期・若年成人(Adolescent and Young Adult: AYA)世代、さらに妊娠中や授乳中の方まで、さまざまな患者さんの治療に薬が使われています。

子どもや妊娠・授乳中の方に使う薬は、適切な使い方や量、安全性について十分な情報がないものも少なくありません。実際に、日本で使用されている薬の約7割は、小児に対する用法・用量が明確に定められていないと報告されています。

子どもは成長の途中にあり、年齢や発達段階によって薬の効き方や体からの排泄のされ方が異なります。そのため、子どもの薬の量は単純に体重だけから判断できるものではありません。また、妊娠中や授乳中の方では、お母さんだけでなく、お腹の赤ちゃんや母乳への影響も考慮する必要があります。

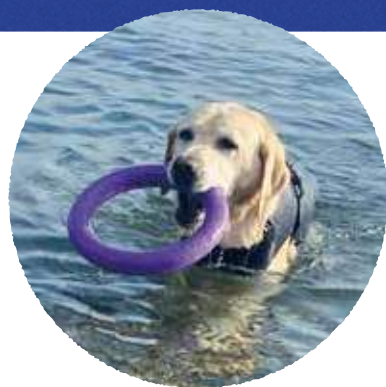
私たち薬剤師は、年齢や体重だけでなく、病状や検査の数値、これまでの治療経過、最新の文献情報なども踏まえながら、一人一人に適した薬物治療となるように薬

の使い方を考えています。

患者さん一人一人に適した薬をお届けするため、薬剤師は薬を準備する際にもさまざまな工夫を行っています。子どもの薬では、粉薬が多いことも特徴の一つです。小さな子どもは錠剤を飲むことが難しいため、薬剤師が錠剤を砕いたり、飲みやすい形に調製したりすることもあります。さらに、投与量や投与方法、一緒に使用する薬の影響、配合の可否なども確認しています。

薬剤師の仕事は、薬を準備することだけではなくありません。病棟では、医師や看護師をはじめとするさまざまな職種と連携しながら、薬の効果や副作用を確認したり、患者さんに合わせた処方内容を提案したりしています。また、薬に関する相談への対応なども行っています。退院後も安心して治療を続けられるよう、患者さんやご家族への説明など、薬を続けて使うための支援も重要な役割です。

私たちは薬の専門家として、一人一人の患者さんに寄り添いながら、安心して薬物治療を受けられるように取り組んでいます。



泳ぐの大好き！



海、大好き！



気持ちがいい～

クールネックを
巻いてるよ！



マサの暑さ対策

夏は人も犬も体調管理が欠かせない季節です。

マサが病院で活動するときは、首にクールネックを巻いて体を冷やしながら過ごしています。活動中もこまめに様子を確認し、水分補給や休憩を取りながら、無理のないよう心掛けています。お休みの日は、できるだけ涼しい時間帯に行動するようにしています。朝早く起きて海へ出かけて泳いだり、自然豊かな避暑地へ足を運んだりしてリフレッシュ。暑い日でも、水辺や木陰では気持ちよく過ごすことができます。

夏場はアスファルトの表面温度が非常に高くなるため、散歩の時間帯にも注意が必要です。人がそれほど暑いと感じていなくても、地面に近い位置を歩く犬にとっては大きな負担になります。熱中症や肉球のやけどを防ぐため、早朝や夜の比較的涼しい時間を選び、地面の温度を確認してから歩くようにしています。みなさんも暑さ対策をしながら、元気に夏を過ごしてくださいね。



Hospital Facility Dog Masa
マサ

犬種：ラブラドル・レトリバー
誕生日：2019年3月7生まれ♂

ホスピタル・ファシリティドッグ®は認定NPO法人シャイン・オン・キッズの登録商標です



ホスピタル・ファシリティドッグ® マナが内定！

はじめまして！

よろしくね！

マナ

マサ

ファシリティドッグ2チーム目が来ます！

当センターでは、2チーム目となるホスピタル・ファシリティドッグの導入を進めています。このたび、ファシリティドッグ候補として新たに迎えることが決まったのは、ゴールデン・レトリバーの「マナ」です。おらかでのびのびとした愛らしい性格が魅力で、人と心を通わせながら、まっすぐな愛情を届けてくれる存在です。現在、マナはファシリティドッグとしての活動に向けて研修に取り組んでいます。今後は当センターでの実地研修を経て、ファシリティドッグとして就任する予定です。

好きな食べ物はりんご



Hospital Facility Dog Mana
マナ

犬種：ゴールデン・レトリバー
誕生日：2024年3月8生まれ♀
出身地：オーストラリア
性格：フレンドリーな性格で、
初めて会った人ともすぐに仲良くなれる。

ご寄付のお礼

2025年度・下半期(10月～3月)にご寄付いただいた、団体・個人の方々のお名前を紹介させていただきます。

団体(敬称略)

Ensemble espoir
一般財団法人松崎隆造医療基金
一般財団法人mudef
一般社団法人みんなのレモネードの会
MSA supporters
大蔵剣道倶楽部
オフィスアイ株式会社
株式会社いやさかアセットマネジメント
株式会社Kids Public
株式会社ダッドウェイ
株式会社DOGグループ
株式会社ピローズ
株式会社FREERIDE
株式会社メディカルインキュベーションシステム
合同会社ASUMI
合同会社コルポディヴェント
佐々木 清香/小児がん支援活動 MICO LEMONADE
The Tokyo Women's Culb
Santa Parade Tokyo
宗教法人井口院
千葉骨髓バンク推進連絡会(西島 一恵)
日本レジリエンス株式会社
雙葉学園同窓会制服リサイクル係
fumingbird yoga
ブルデンシャル生命株式会社 東京第七支社
ポリス ダルソー/エールフランスKLM
みどり米のわたなべ農園

個人(敬称略)

会田 容子
青木 恵子
朝田 寿子
浅見 きぬ江
荒井 正道
荒谷 竜太
安藤 永一
安藤 卓
飯田 幸代
飯塚 あい
家田 俊也
壹岐 豊
池上 史彦
池田 律子
石田 瞳
石原 綾子
磯 昌樹
磯田 真
市川 和男
井出 純
伊藤 達也
稲見 晃宏
井福 俊允
今井 里美
今井 誠也
今井 みさき
井利元 敏哉
岩木 志織
岩坂 奈津美
岩瀬 達彦
岩永 良児
岩村 拓也
殷 祥洙
うえお
上江洲 美雪
上野 巖
内空閑 賢一
内田 達也
内田 哲也
宇都宮 裕
内海 篤人
MJ
遠藤 宗
遠雷
エンワークス
大石 智子
大川 恵子
大木 美沙子
大久保 友美
大嶽 みゆき
大津 春希
大野 優子
大森 直樹
大柳 高幸
岡島 悦子
岡田 碧
岡谷
岡田 めぐみ
岡田 洋子
小川 さつき
奥富 恵美子
尾崎 鉄朗
帯金 駿
小松原 麗衣
甲斐 敬志
カウントオン
行政書士事務所
柴田 玄
角田 正樹
笠木 紀美子
梶川 翔太
鹿島 真弓
加藤 歩
加藤 明子
加藤 菜摘
加藤 ももこ
金澤 康美
金子 友紀子
カラガラ
カルトゥーシュ
カード
河上 大吾
川口 貴弘・
和歌子
川添 友樹
菊池 美樹
北田 修造
北村 勇人
木下 太陽
木保 孝浩
木本 隆
木本 英明
CAT
COMPANY
楠 美雪
久保 人司
久保田 貴也
倉本 昌実
栗原 悠
黒河 優
黒澤 菜美子

黒澤 義教
後閑 麻美
小坂 麻希
五嶋 翼
小菅 崇
古田島 順也
cochu
小堤 蘭子
小西 千佳子
小西 正樹
小林 太
小林 佳弘
齋藤 国雄
齊藤 まどか
サクライ エイコ
桜井 真由美
佐田 ヘザー香梨
佐藤 明紀
佐藤 歩
佐藤 潤一
佐藤 隆
佐藤 剛
佐藤 恵
佐藤 由紀恵
座間 光
澤 紫乃
Jどんた
品川 夏葉
柴崎 桂
島田 佳祐
下重 晴子
下村 哲也
上甲 万理
白井 直哉
白川 博之
城田 次郎
眞 恭子
杉山 佳子
鈴木 敦子
鈴木 亜美
鈴木 あゆみ
鈴木 桂子
鈴木 潤一
鈴木 純子
鈴木 秀幸
鈴木 裕斗
すずめナマケモノ
関口 真澄
せみ
第八十八恵久丸
高井 雄也
高木 智子
高瀬 寿裕
高津 ハム子
高橋 幸子
高橋 舞子
高林 典弘
瀧沢 円
田口 和也
武田 佳子
竹田 正行
田中 一恵
田中 雅秀
田中 裕子
田中 理子
谷貝 英男
田端 真弓

民井 隆礼
CHIKI
ちはる
チョ・キュヒョン
柘植 太郎
辻 秀之
土屋 貴洋
土屋 裕幸
網島 直輝
常岡 孝之
角谷 友朗
寺島 紀香
テラダ トシコ
寺村 史彦
とあるTRPG
鯖管理人
党 一翔
徳永 貴士
富田 文子
トラッキー
ドリエ
内藤 貴美子
内藤 長生
永井 一信
永井 慧
中内 康雄
中尾 和義
中澤 拓郎
長島 由佳
中島 一紀
中島 光康
中嶋 雪花
永田 一江
中橋 貴宏
中真 ゆうき
中村 彩子
中山 正成
ななし
名畑目 真吾
新治 雅貴
新山 由佳
西島 博之
西山 浩平
西脇 綺矢
如意 仁詞
根岸 恵里
根本 麻美
野上 大介
野出 雄太
野呂 智信
朴 東淳
はしば さとこ
服部 未尋
花田 一枝
羽田 洋平
原田 理紗
坂東 大毅
view village
ひらい ゆり
平野 愛
平野 康彦
廣田 真意子
深谷 麻衣
福島 千佳
福田 章
福田 智子
福留 友子

藤澤 園子
ふじねこ
藤本 雅子
古市 麻優子
古田 利絵子
北條 亜希子
星空 月叶
Luca Hoshizora
堀 千絵
本田 愛香
本間 シズカ
前島 希
松尾 映子
松原 友香里
松前 絵未
松本 直之
まみたそ
三上 ともよ
ミコット
三澤 雄一朗
水澤 実咲
三尾 悠介
緑上 正俊・ひとみ
宮木 明朗
宮城 輝子
三宅 和宣
宮沢 文美
宮本 暁
MIRAIDIA
三輪 浩子
武藤 昌伸
村上 徹
馬上 丈司
本橋 邦夫
もも
森田 祐子
矢口 奈央子
保田 麗輝
矢野 永子
やのとしひこ
山内 卓也
山口 由佳
山崎 亜子
山崎 有美
山崎 柊
山崎 知子
ヤマザキ ナオミ
山田 裕美
山本 早耶香
山本 知己
有木 大晟
横山 路子
吉岡 真紀子
よしこ
LINUS展
LOVEBITES
Miyako
李 炯周
李 鈺
六原 恵
若槻 咲美
涌井 悟
和田 里美
渡邊 珠美
渡邊 毘駕

ご寄付いただいたみなさま
誠にありがとうございます。



成育



植松副院長が 内閣総理大臣表彰を受賞

消費者支援功労者表彰は、消費者の利益を守り、増進させる活動に貢献した個人や団体を表彰する制度です。当センターの植松悟子副院長が、同表彰の内閣総理大臣表彰を受賞し、5月29日に総理大臣官邸で行われた表彰式に出席しました。植松副院長は、子どもの事故予防策の普及に関する研究や、医療機関ネットワーク事業を通じて年間約4,000件の事故情報を提供するほか、消費者庁が制作する啓発資料の監修や法規制の検討に必要な情報提供を行うなど、「子どもの安全」に関する幅広い活動が評価されました。

成育



8月1日(土) 毎年恒例の 成育夏祭りを開催します！

今年も夏祭りのシーズンがやってきました！当センターの夏祭りは地域の皆さまとの交流を目的に、毎年8月に開催しています。焼き鳥やフランクフルト、ソフトドリンクなどの屋台や、お子さん向けのゲームコーナーもあります。また、中庭にはやぐらを建てて盆踊りも行いますので、是非遊びにいらしてください。

日時：2026年8月1日(土)

16:00頃開始予定(小雨決行)

場所：国立成育医療研究センター中庭

※お車での来場はご遠慮ください。

教育研修センター



「成育の出張授業」に 新コースが追加されます

当センターの職員が学校に出向いて行う「性や命」に関する出張授業に、「小児科医と学ぶ健康教育」が加わります。「食べる・寝る・遊ぶ」をテーマに、子どもたちが自分のからだを大切にすることを育む力を養います。毎日の生活とからだのつながりを、パペットづくりなどを通して楽しく学び、日々の生活に生かせるヒントを持ち帰ります。内容は年齢やご希望に合わせて調整可能です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



女性の健康総合センター

ICWH Integrated Center for Women's Health

Health Talk

女性の **こころ** × **からだ**

気になることが
聴けるラジオ



ICWHのPodcast番組が スタートしました！

女性の健康総合センター(ICWH)では、女性の健康に関するヘルスリテラシーの向上を目的に、Podcast番組「ICWH Health Talk」を始めました。女性特有の疾患やメンタルヘルスなどをテーマに、ICWHの研究者やドクターが最新のエビデンスに基づいたトークを展開します。Spotify、Apple Podcastなど各プラットフォームで、難しい話も易しく、分かりやすくお伝えしていきますので、ぜひお聴き下さい。



ご意見・ご感想

『成育だより』へのご意見・ご感想、
また取り上げてほしいテーマがありましたら、
QRコードからぜひお気軽にお送りください。

広報誌「成育だより」
最新号に関するアンケート



女性の健康総合センター



高輪の新拠点で、女性の健康を支える活動をはじめます

当センターは、2026年4月より「TAKANAWA GATEWAY CITY」内の連携拠点「LiSH(リッシュ)」に入居いたしました。この新しい拠点では、医療・研究・企業をつなぐ架け橋として、さまざまなセミナーや勉強会を開催し、役立つ情報を発信していきます。皆さまと一緒に「女性の健康」について考え、実践できる場を、会話や交流を大切にしながら育んでいく予定です。また、LiSHを舞台に、企業や自治体、大学、地域の皆さまと力を合わせ、新しい取り組みを社会へ広げること、女性の健康と医療の未来づくりに貢献していきます。

全国にある河童伝説の1つ「遠野」に行ったことがあります。本当に河童が出てきそうでした。その旅の思い出を描きました。楽しい旅の気分が伝わると嬉しいです。

表紙の絵について

当センターでは、さまざまな個性を持った方々との共生を目指して、表紙イラストに障がいのあるアーティストのイラストを採用しています。思わずクスッと笑ってしまう作品、目を見張るような作品など、魅力あふれる作品をご紹介します。2026夏号は、エイブルアート・カンパニー所属、簗田利博さんの作品です。

描いた人：

簗田 利博

1960年生まれ

福岡県在住



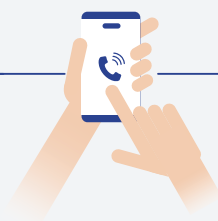
アイノカタチ基金

ご寄付について

子どもたちの命を守るための医療機器の整備や、療養環境の改善のためにご寄付をいただくとありがたく存じます。当センターへの寄付は税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。詳細はHPをご覧ください。



<https://www.ncchd.go.jp/donation/>



国立成育医療研究センター お問い合わせ

医療関係者の方

医療連携室

直通 03-5494-5486(月～金8:30-16:30)

救急センター

代表 03-5494-7073(24h受付)

NICU

代表 03-5494-7750(24h受付)

母体搬送

代表 03-5494-7550(24h受付)

PICU

代表 03-5494-7120(内線7070)(24h受付)

患者さん・ご家族

予約センター

病院 03-5494-7300(月～金9:00-17:00)

産科 03-5494-8141(月～金9:00-17:00)



国立研究開発法人

国立成育医療研究センター

National Center for Child Health and Development